

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）の修正案について 市民説明会
日時	平成 28 年 6 月 12 日(日) 午前 10 時 00 分～午前 10 時 20 分
会場	中野市立延徳小学校体育館
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 5 人・教育委員会出席者 8 人 教育長、教育委員 2 人 学校教育課長補佐、施設係長、事務局 3 名・報道機関 なし
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 基本方針（案）修正案について4 質疑5 閉会
その他	添付資料：基本方針（案）修正案 発言内容は別紙のとおり

(別紙)

中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）の修正案について市民説明会

日時 平成 28 年 6 月 12 日（日）
午前 10 時 00 分～午前 10 時 20 分
会場 中野市立延徳小学校体育館

- 1 開会（AM10:00）
 - ・進行：課長補佐
- 2 あいさつ
 - ・教育長あいさつ
- 3 基本方針（案）について
 - ・課長補佐から資料の説明

4 質疑

意見

- 6 ページの一番上段、日野小と延徳小のひと桁の学年が複数となる事が見込まれる状況になった時に改めて検討を行うという事ですが、具体的に日野小学校 6 学年中、何学年ぐらいがこの数字になった時に教育委員会ではどのようにお考えなのか、具体的な数字があればお聞かせください。
- あくまでも要望ですが、日野小の皆さん延徳地区の皆さんお話するなかで一番多いのが、父兄というよりもやはり年配の方のご意見なのですが、昭和四十年代に、現在南部給食センター横のサッカー場のあるところに、日野、延徳、中野小の西条地区と小田中地区の皆さんで小学校を建設という話がありました。その時も地域の皆さんから最終的には反対という事で、その話が無くなってしまったという経過がございます。そのなかで延徳小日野小が十年後に統合したとしても、その先また行き詰るのではないかという市民の皆さんの声が多いです。中野小は今はそのままということですが、将来は仮称中野南小学校というものが必要な時期が当然来るのではないかなと思っております。

回答

- 人数の話をさせていただきます。今現在手元に資料がございますけれども、出生数からおって平成 34 年度まで出しておりますけれども、それまで、日野小がひと桁の学年はありません。1 クラス 10 人を超えており、全体的にも極端に減るという事はありません、予測とすればしばらくはこのような状態でいくと思っております。
- 具体的な数字ですが、6 学年中ひと桁の学年が 2 クラスになった時と考えております。

- 今の補足でございますが、ひと桁の学年が二つになりましたら、これは現状今市内のいくつかの学校で通常の教育活動で音楽体育色々の点で担任の先生が非常に苦勞しており、その辺のところを私共は一つの目安になると考えています。ただ先日の日野小の説明会でも、そのような時期がきてからどうこう言っても遅いと、見通しが出てきたら前もって議論を開始しなければというご意見をいただいております、そこは教育委員会としても十分承知しております。
- 二点目の要望の点でございますが、これは第一回目の市民説明会でも出ておりますが、現段階では通学区の見直しはしないという事で進めさせていただきたい。ただこれも先日の日野小の説明会でお答え申し上げたわけですが、中野小平野小を含めて通学区の見直しという議論をしなければならないだろうと。ただ通学区をいじる場合ご承知のように大変な困難を生じます、二年三年で結論が出るものではございません。過去の経過もありますので、十分時間をかける必要があると思っております。

意見

- 複数というのは二クラスという事については分かりました。私も今後の六年先までの数字は持っておりますけれども、今一番問題なのは当延徳地区において六地区のなかで毎年世帯戸数が増えているのは新保区だけであります、来年の一年生も24人でそのうち新保区は13人です。市内を見ても新保、西条、西間、東江部この辺りは住宅等がかなり建てられておりますが、その中で日野地区においては一番古い間山地区は世帯が増えていかない。延徳地区においては桜沢地区小沼地区ここ何十年新しい世帯が増えない状況です。中野市内でもそうですが、人口は減る一方、ただ世帯数だけは全国的に増えている。ある程度人口や子ども達の数というの、10、20年先まで予測されているのではないかと思います。そのようなことも含めまして、日野地区の皆さんの二クラスになってからでは遅いという話の通り、中野小についても通学区の見直しも含め、先々見ていくという事は一番大切ではないかなと思っております。
- 今日の延徳地区は日野地区と違います。立場が立場なものですから、中々父兄の皆さんも関心が薄いのかも知れませんが、先ほども申したとおり、日野と延徳が統合しても、その先を考えた時にはまた同じ問題が生じる。ぜひ中野市の南部を中心にひとつの学校を造る事を今から考えていかなければならないのではという市民の皆さんも大勢います。今回の件については教育委員の皆さんを始め事務局の皆さんには大変ご苦勞いただいているのは十分分かりますが、そういったことも含んで今後進めていっていただきたいと思っております。

5 閉会 (10:20)